

2. 環境影響評価における事業計画の変更等

2.1 変更の概要及び変更理由

環境影響評価における事業計画の変更概要と変更理由は表 2.1-1 に示すとおりである。

表 2.1-1 環境影響評価における事業計画の変更概要と変更理由

項 目	変更概要	変更理由
事業名称	事業名称の変更	事業の名称を都市計画決定上の名称である「福生都市計画事業羽村駅西口土地地区画整理事業」に統一する。
施工計画	工期の延伸	事業進捗状況を踏まえ工程を見直したため。 なお、工期に変更はあるが、完成時の計画自体に変更はない。

2.2 環境影響評価における事業計画の変更等

2.2.1 施工計画

(1)事業工程

本事業は平成 19 年度から建物移転に着手しているが、事業工程については、表 2.2.2-1 に示すとおり、全体工程の期間について変更する。

なお、事業進捗状況を踏まえ、幹線道路築造工事及び公園築造工事の着手時期を見直した。

表 2.2.2-1 事業工程表

[illegible][illegible]

(2) 工事工程

図 2.2.2-1 に示す工区設定において、事業工程の変更に伴い、表 2.2.2-2 に示すとおり工
区別工程を変更する。

また、各工区における標準工程は表 2.2.2-3 に示すとおりである。

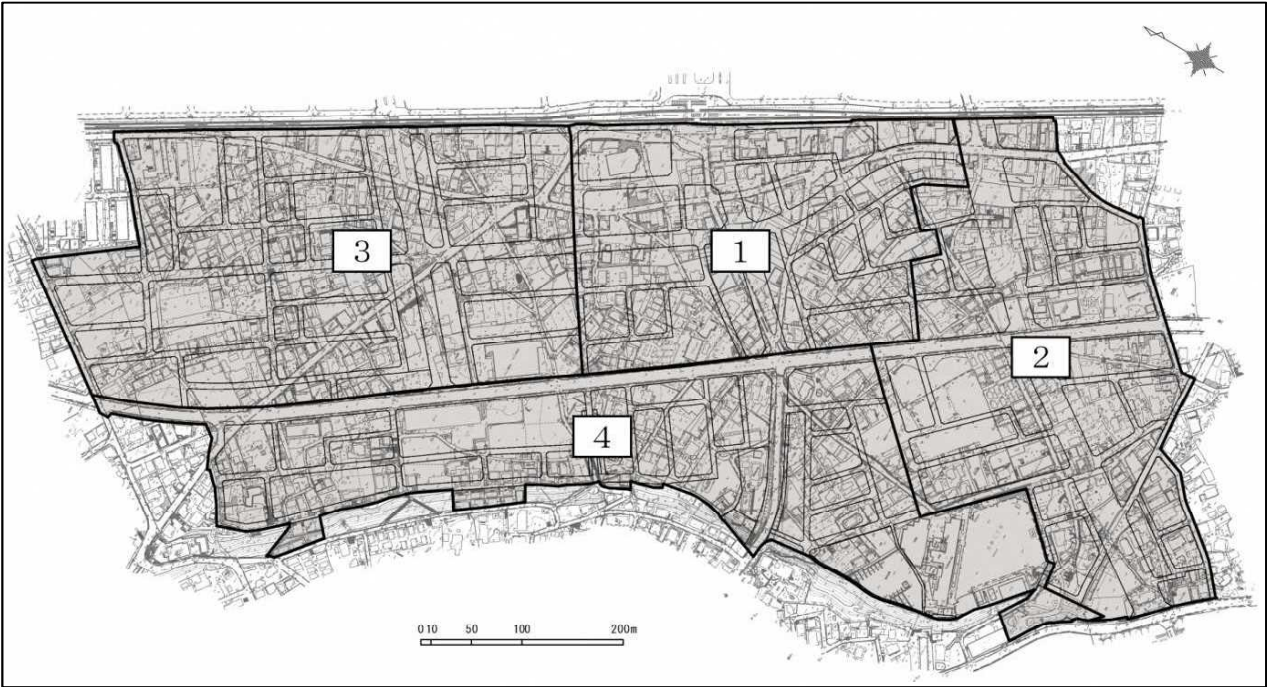


図 2.2.2-1 工区割り図

表 2.2.2-2 工区別工程表

変更後

年度 工区	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度	令和 17年度	令和 18年度
1																														
2																														
3																														
4																														

変更前

年度 工区	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
1															
2															
3															
4															

(3) 建設資材等の資材量及び資機材運搬車両台数

建設資材等の搬出入量及び資機材運搬車両台数については、表 2.2.2-4 と表 2.2.2-5 のとおりである。

表 2.2.2-4 建設資材等の搬出入（PC 壁体設置工事を除く事業全体）

変更後

種 類 内 訳		搬 入		搬 出		計
		砕石・コンクリート・ 砂等	アスファルトコンクリート・ コンクリート製品	搬出土	廃材等	
資 材 量		12.6 万 m ³	3.9 万 t	5.3 万 m ³	5.0 千 m ³	—
資機材 運搬車両 台数 ^{注)}	台／日	5.3	1.0	2.2	0.2	8.7
	台／時	0.9	0.2	0.4	0.1	1.6
		1.1				

注) 資機材運搬車両台数は片道。

変更前

種 類 内 訳		搬 入		搬 出		計
		砕石・コンクリート・ 砂等	アスファルトコンクリート・ コンクリート製品	搬出土	廃材等	
資 材 量		12.6 万 m³	3.9 万 t	5.3 万 m³	5.0 千 m³	—
資機材 運搬車両 台数 ^{注)}	台／日	17.6	3.2	7.3	0.7	28.8
	台／時	2.9	0.5	1.2	0.1	4.7
		3.4				

注) 資機材運搬車両台数は片道。

表 2.2.2-5 建設資材等の搬出入（PC 壁体設置工事）

種 類 内 訳		搬 入		搬 出		計
		砕石・コンクリート	コンクリート製品	搬出土	廃材等	
資 材 量		355m³	1,990 t	—	4,399m³	—
資機材 運搬車両 台数 ^{注)}	台／日	0.21	0.70	—	2.59	3.5
	台／時	0.04	0.12	—	0.43	0.59
		0.16				

注) 資機材運搬車両台数は片道。

資材量から台数への算出は車両 1 台当り 6m³又は 10 t の積載量とし、工事期間 17 ヶ月、1 年間当りの作業日数 200 日、1 日当たりの作業時間 6 時間を基に算出した。

<計算例> 砕石・コンクリート $355\text{m}^3 \div (17\text{ ヶ月} \div 12\text{ ヶ月} \times 200\text{ 日}) \div 6\text{m}^3 = 0.21\text{ 台/日}$

(4) 建設資機材等の運搬

建設資機材等の主な搬出入ルートは図 2.2.2-2 に示すとおりであり、変更はない。

資機材運搬車両の方向別配分については、表 2.2.2-6 のとおりであり、PC 壁体設置工事の追加により発生する車両の方向別配分は表 2.2.2-7 のとおりであり、変更はない。

資機材の搬入ルートは福生方面（奥多摩街道）及び青梅方面（新奥多摩街道）の 2 ルートとし、資機材運搬車両台数は福生方面・青梅方面ともに片道 0.55 台／時とした。

また、搬出土の搬出ルートは青梅方面（新奥多摩街道）とし、資機材運搬車両台数は片道 0.4 台／時である。

廃材の搬出ルートは瑞穂方面（羽村街道）とし、資機材運搬車両台数は片道 0.1 台／時である。

表 2.2.2-6 資機材運搬車両の方向別配分（片道：PC 壁体設置工事を除く事業全体）

変更後

単位：台／時

	福生方面 (奥多摩街道)	青梅方面 (新奥多摩街道)	瑞穂方面 (羽村街道)	合 計
資機材搬入	0.55	0.55	—	1.1
搬出土	—	0.4	—	0.4
搬出廃材	—	—	0.1	0.1
合 計	0.55	0.95	0.1	1.6

変更前

単位：台／時

	福生方面 (奥多摩街道)	青梅方面 (新奥多摩街道)	瑞穂方面 (羽村街道)	合 計
資機材搬入	1.7	1.7	—	3.4
搬出土	—	1.2	—	1.2
搬出廃材	—	—	0.1	0.1
合 計	1.7	2.9	0.1	4.7

表 2.2.2-7 資機材運搬車両の方向別配分（片道：PC 壁体設置工事）

単位：台／時

	福生方面 (奥多摩街道)	青梅方面 (新奥多摩街道)	瑞穂方面 (羽村街道)	合 計
資機材搬入	0.08	0.08	—	0.16
搬出土	—	—	—	—
搬出廃材	—	—	0.43	0.43
合 計	0.08	0.08	0.43	0.59

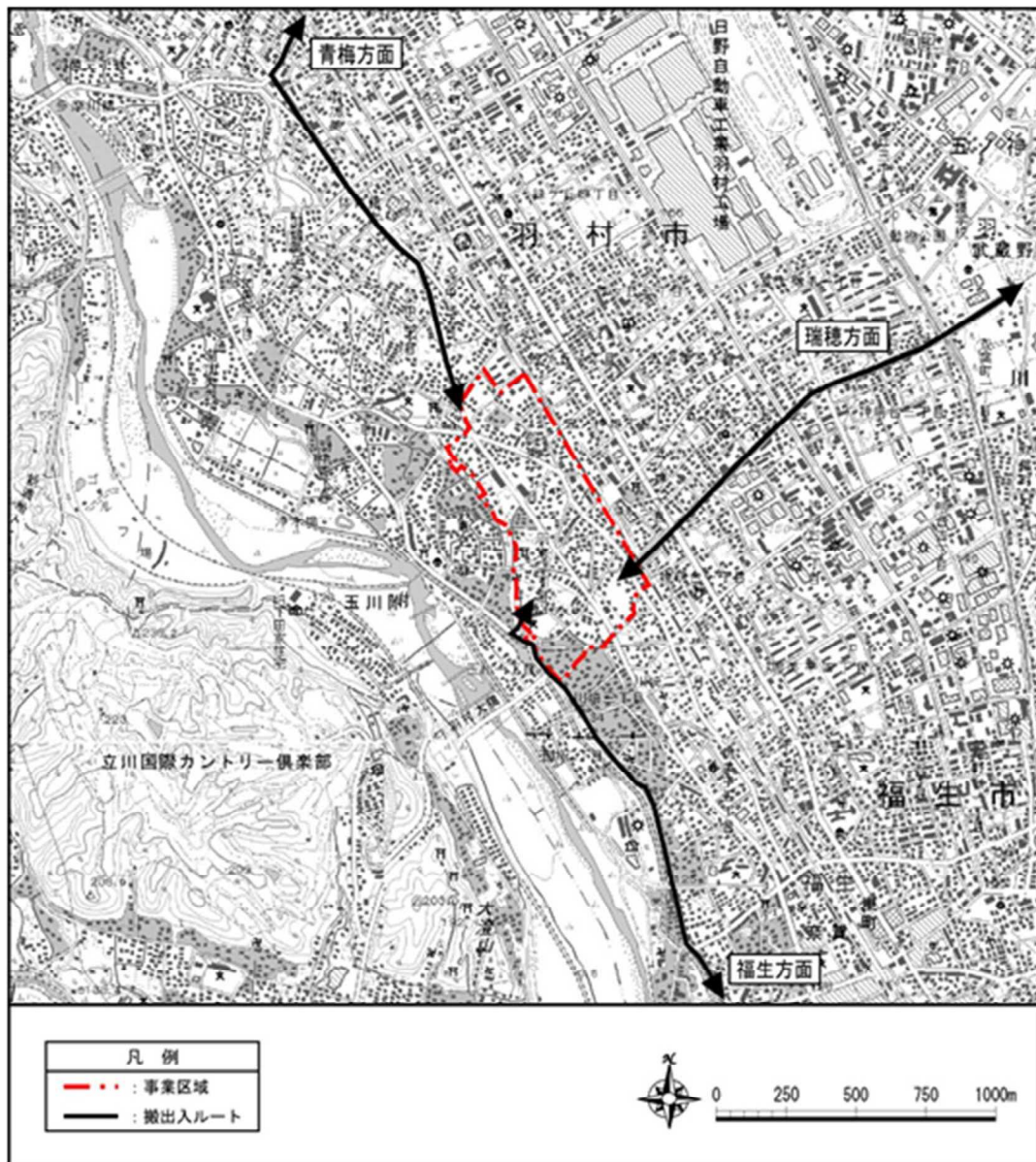


図 2. 2. 2-2 資機材運搬車両の走行ルート図